

ごあいさつ



会員、賛助会のみなさまには、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和3年6月4日第49回定時総会にて第14代会長に就任してから2か月が経ち、既に理事会・委員会活動を開始していますが、ここに来ましてコロナ感染も急激に拡大しています。会員でも濃厚接触者として感染対策の徹底を注意喚起された方も出始めております。会員の皆様もよりご注意されることをお願い申し上げます。

さて、前年度までの5年間は金子前会長の御尽力により、公益社団法人としての基盤固めを進めてきました。社団法人から公益社団法人に移行した当初の3年間は、社団法人のままの感覚で運営していたため、「公益社団法人は、国民の財産を預かり運用する」という重要な点が欠落し、理解しないまま運営していたために、県政策法務課より度々指摘を受けてきましたが、ここでやっと公益社団法人としての体を成してきました。ただ、指摘された問題も少し残していますので早急に対応していきます。経営体質も赤字から黒字に転換できたことも金子前会長の功績であり感謝申し上げます。

そして今年度からは荒れ地を伐根し、耕し、種をまき始められた金子前会長から引きつぎ、より多くの種を撒き、水を与え、追肥をいれてこれらを収穫できるようにしていく所存です。

現在、新執行部、新委員会を中心に委員会活動の活性化をして、会員参加型の講習会、討論会やプロジェクトを立ち上げて会員に寄与できるようにしたいと思っています。また我々は建築設計業務の県内唯一の法定団体でありますから、今後行政にも働きかけをしていきます。そして、皆様が当協会員である事の意義を実感できる協会を目指していきます。

昨今大雨、洪水、台風、地震と災害が発生しやすい状態であり災害時に損色なく活動するための基盤整備を急いで確立します。一昨年の台風では停電によりサーバーも起動しなくなりました。今年度よりWebサーバーへの切り替えの準備をすでに始めています。これらのことと、BCP(Business Continuity Plan)としての積立金を立ち上げ災害時に即座に利用できるものを作ります。災害が起きてからでは遅いので平素から必要なことはしていきます。また、熊本の地震の時に現地に入った行政や建築士からの情報では 携帯電話を始め通信手段が使えない状態の中LINEだけは使用可能だったという事を聞いております。そこで最近情報漏れ問題をおこしたLINEですが LINE WORKSを導入して災害時も対応できるようにいたします。

まだまだ多くの事の構築が必要ですし改革も必要です。まずは、できることから始めています。

皆様にはこれからも協会活動にご理解をいただき、ご協力、ご指導・鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。



熊谷千葉県知事 表敬訪問

公益社団法人 千葉県建築士事務所協会
会長 須田 正美